



防府消化器病センターは
「病院機能評価」を受審しました

●連携施設のご紹介コーナーを新設

10月
2023

防府消化器病センターは 「病院機能評価」を受審しました



サーバイヤー(調査員)が各現場を見て回り、スタッフにヒアリングなどを行います。



改善点の指摘だけでなく、客観的に「良い」と認められることもあり、励みになります。

当院は、9月19日、20日の2日間にわたり、病院機能評価を受審しました。

病院機能評価とは、病院で提供されている診療やケアについて、公益財団法人日本医療機能評価機構が第三者の立場から「病院全体の運営・管理がされているか」「適切な医療が提供されているか」を審査するものです。認定有効期間は5年で、全国では約25%の病院が認定を受けており、山口県内では9月1日現在31の病院が認定されています。

受審は任意であり、病院ごとの方針により受審に対する考え方はさまざまです。受審に向けて準備をしていく過程で、課題が明らかになり、基準に基づいて業務改善に取り組むことができるというメリットがあります。

当院も受審にあたっては、事前にすべての部署で自己評価を実施し、さまざまな点において職員の意識改革が図られました。

今回整備した規程やマニュアルによって、業務改善のPDCAが働き、チーム医療を促進する機会にもなりました。このたびの受審を一つのステップとして、当院が目指す「質の高い安全で温かみのある医療」を提供するため、今後も改善に努めてまいります。

看護部

初めての受審ということもあり、手探りの状態で看護部全体が協力して準備を行いました。当日は、不安と緊張の中、私たちが実践している看護について説明しました。大変でしたが、今後の課題が明確になり、実のある受審だったと感じています。

薬剤部

薬の管理に関することや薬剤師としての新たな役割等についてご指摘いただきました。医療の質、向上のため今後とも精進していこうと思います。



患者サポートセンター

多職種の協力を得ながら、部署一丸となって取り組むことができました。この経験を今後の支援につなげていきたいと思っています。

医事課

機能評価を受審するにあたり、業務手順の見直しを行うことができました。ご指摘を受けたことで、まだまだ細かい見直しが必要であると感じましたので、今後改善してまいります。

総務課

皆様のご協力により、受審は無事終わったと思います。受審により気が付く点ばかりありますが、課題を一つずつ解決していきます。



放射線科

準備は大変でしたが、部署内の体制や勤務内容の見直しをする良い機会になったと思います。

検査科

検査部門としては、この機会に整理整頓が進み、5Sの重要性を再確認することができました。医療機器の管理についても課題が明確になりました。

リハビリテーション科

2018年8月に開設し、今まで5年間に築いてきたことに対して「適切である」と評価をいただくことができました。今後も自信を持って取り組んでいくことができます。



医療機関連携施設のご紹介コーナーを新設しました

このたび、当院が連携している医療機関のご紹介コーナーを外来ホールに新たに設置しました。患者さんにわかりやすく掲示することにより、地域の医療機関の皆さまとのスムーズな連携をより促進したいと考えております。連携施設の皆さまには、作成にあたってご協力いただき、誠にありがとうございました。



10月の外来診療予定表

	診察室	月	火	水	木	金
午前	1診	三浦	釘宮	三浦	-	-
	2診	外山	-	-	外山	外山
	3診	釘宮	奥田	釘宮	奥田	奥田
	5診	-	竹尾	竹尾	竹尾	大平
	6診	藤原	大平	-	大平	佐伯
午後		丸岡	平田	休診	休診	交代制

診療日時	受付時間	診療時間
午前（月～金）	8：00～11：00	8：30～
午後（月・火・金）	13：30～16：30	14：00～
水曜日、木曜日の午後と、土曜日の午前は、外来が休診ですが、救急のご紹介受け入れは可能です（常勤医師対応）。		

※都合により代診になる場合があります。
 ※水曜日、木曜日の午後は休診です。
 ※出張等で担当医が不在の場合もありますので、受付またはお電話でお問い合わせください。

一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33 TEL：0835-22-3339（代表）

【電車・バス】JR 防府駅よりバス2分 防府市役所前下車またはJR 防府駅より徒歩10分

【お車】山陽自動車道 防府東または防府西インターから10分

公式サイト



Instagram



<https://www.hofu-icho.or.jp>

Editorial Note

衣替えの時季となりました。例年長袖にすると日中の暑さがぶり返す、というマーフィーにも近い法則があるように感じています。さて、今年はいかがでしょうか。秋といえば〇〇の秋、それぞれに思いを巡らしてみてもこの季節の一興です。視力に経年劣化を自覚する日々ですが、最近では文字を追わずとも、読み聞かせアプリも登場し、風情は激減するもの、眼の年齢を気にせず読書？三昧も可能となりました。今月は30冊ほど目指してみましようか。皆様も〇〇の秋をご存分にお楽しみくださいませ。 事務局長 栗林 左知